

陽南中学校

# 国語科の取組

- ▶ 言葉への自覚を高め、国語を学ぶ楽しさを実感する生徒の育成

# I-(1) 単元構想図の作成

考えを深める

目的をもって読み取る

楽しむになる

単元名：故郷の価値を批評する

教材名：「故郷」

生徒の実態

言葉への自覚を高めた生徒の姿

言語活動とその特徴

活用できる知識及び技能

単元で付けたい力

生徒の意識活動の流れ

生徒の実態

四 単元構想図（全六時間）

◆生徒の実態

【知識・技能】(3) 読書  
 ・読書から新しい知識を得ることは、自分や社会とつながるという認識や実感は、  
 や実感は、  
 【思考・判断】(1) 批判的思考、エッセイの形、共有  
 ・登場人物の言動や人相を捉え、理解したこと、自分の知識や経験を結びつけて考察したりする力は付  
 いてきたが、作品を批判的に読み、より広い視野をもって自分の意見を形成することに弱さが見られる。  
 【主体性】  
 ・「主眼」に「取り組む態度」  
 ・特徴やよさを進んで伝えようとするが、課題に沿って批評しようとする姿は少ない。

「楽しく」を実感するための学習活動の流れ

単元の見直しをもつ。  
 が長年読まれ続けている理由や  
 価値について、今の自分たちが捉  
 得ることがわかる。  
 までの作品と比べて表現が難し  
 の作品の価値とは何だろうか。

内容を読み取り、表現の仕方に  
 するときの状況や「私」の気持ち  
 を批評する。  
 「私」の気持ちに  
 が伝わるのか、  
 「私」の気持ちの  
 伝わり方を  
 批評する。

作品の価値を形成する。  
 批評文から新たな価値に気付い  
 けの生き方にも生かしたい。

批評文から新たな価値に気付い  
 けの生き方にも生かしたい。

批評文から新たな価値に気付い  
 けの生き方にも生かしたい。

批評文から新たな価値に気付い  
 けの生き方にも生かしたい。

◆単元  
 【知識・技能】(3) 読書  
 ・社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。  
 【思考・判断】(1) 批判的思考、エッセイの形、共有  
 ・人物や情景描写によって時代背景を反映した作品であることなどを批判的に読みながら、作品に表れ  
 ている価値を捉え、自分の知識や経験を結びつけて考察したりする力は付いてきたが、  
 【主体性】  
 ・「主眼」に「取り組む態度」  
 ・特徴やよさを進んで伝えようとするが、課題に沿って批評しようとする姿は少ない。



# 1-(2) 具体的な指導の手立て

## 登場人物の比較

【ICT活用】  
・身近にあるCM動画を視聴し、印象に残ったことやその理由などを共同学習支援ソフトを用いて意見交流できるようにする。

【ICT活用】  
・「少年の日の思い出」に用いられている情景描写を提示し、その効果を確かめられるようにする。

・ヤンおばさんとルントウを比較し、私の心情の違いを問いかけることで、外見よりも内容が変わってしまったことへの絶望に気付けるようにする。

・「道」や「歩く」がそれぞれ何を表すのかを考え、魯迅がこの作品を通して伝えたい内容が捉えられるようにする。

【ICT活用】  
・互いの批評文を、共同学習支援ソフトを用いて読み合い、捉えた価値やその根拠に対する考えを広げたり深めたりできるようにする。

ICTの活用

他の作品との関連

# 2-(1) 考えの形成

自分の考え

精査・解釈した内容に基づいて

文章の構成  
論の展開

根拠

既習内容  
知識・経験

